

うりょうけいを つくろう

—あめ ふ りょう雨の降った量をはかる—

1 ようい 用意するもの

(1) ペットボトル 1 本

(なるべくおお大きなもの 1.5 リットル)

(2) はさみ

(3) ビニールテープ

2 つくりかた

(1) ペットボトルの^{うえ}上のほうを、はさみで^き切ります。



(2) ^き切った^{うえ}上の部分^{ぶぶん}を^{さか}逆さにしてペットボトルの^{なか}中
に^さ差し^こ込みます。



(3) うご動かないようにテープでペットボトルのへりを
と止めます。



(4) ペットボトルにめも目盛りを付けます。



3 かんそく

(1) かんそくのじゅんぴ

できあがった^{うりょうけい}雨量計が^{かぜ}風などで^と飛ばされないように
うえき^い植木ばちなどに^{うえ}上に^き木などないような^{ところ}所に
お^お置きます。そしてペットボトルに^つ付けた^{めも}目盛りの^{いちばん}一番
^{した}下まで^{みず}水を入れて^いおきます。



(2) かんそく

まいにち き 毎日、決まったじかんに目盛りを読みます。

あめ ふ 雨が降っても降らなくても、まいにち き 毎日じかんを決めてかん

そくします。あめ ふ 雨の降らない日が続くと、いちばんした め も り 一番下の目盛

りまで入れておいた水が じょうはつ 蒸発するので、いつも水が

いちばんした め も 一番下の目盛りにあるようにしておきます。

ひとめ も り 一目盛りが、10mm になっていますから、なんめ も り 何目盛

りまで水があったかノートに書いておきます。

か お よぶん みず す 書き終わったら余分な水を捨てていちばんした め も り 一番下の目盛

りまで水がくるようにしておきます。